

第241回研究科委員会・第348回教員会議 議事要録

日 時：令和5年2月8日（水） 13：30～15：45

場 所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

冒頭、2月1日付けで正規教員となった環境放射能研究所・准教授から挨拶があった。続いて、研究科長から大学院改革関連について報告があった。最初に、評議会資料5に基づき各研究科の入試状況について報告があった。また、プログラム連絡調整会議、2月1日の記者会見についても報告があった。さらに運営会議資料1-3に基づき、大学院のwebサイトの作成について報告があった。これらの報告について、特に質問は出されなかった。

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 大学院設置準備室

(1) 共生システム理工学研究科の専攻長の決定方法について

資料1の通り、専攻長の決定方法について申し合わせを新たに作成し、これに従って決定したいとの提案があった。環境放射能研究所・准教授から任期について質問があった。研究科長から、今年4月からの任期となるため、環境放射能研究所所長の任期とずれる可能性があることも合わせて回答があった。審議の結果、提案通り承認された。

2. 教務委員会

(1) 教務関係取扱要項等の一部改正等について

資料2に基づき、大学院改革に伴う改正4点について提案があった。質問等はなく、審議の結果、提案通り承認された。

(2) 令和5年度非常勤講師計画について

資料3の通り提案があり、次年度の合計865時間は前年度と大きく変わらないとの説明があった。質問等はなく、審議の結果、提案通り承認された。

(3) 令和5年度9月修了博士論文最終試験日程について

資料4に基づき提案があった。一部日程が未確定の部分があるが（網掛け部分）、これらについては次年度の研究科委員会の日程が決まり次第決定するとの付言があった。審議の結果、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 学生生活委員会

(1) 学生表彰審査について

資料5に基づき説明があり、今回から修士論文最終試験において各学生の発表を評価し、その結果をGoogleフォームに記載して欲しいとの依頼があった。関連して、審査は平均点で評価されること、未入力の場合は0点になるとの説明があった。環境放射能研究所・准教授から、主査・副査ともに審査するのか、との質問が出され、委員長からその通りであるとの回答があった。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 人事委員の選出について

人事委員3名を選出するための選挙を行った。2名連記無記名で投票を行った結果、19票17票、11票の上位3名が選出された。

(2) 学類運営会議委員（分野長及び副分野長）の選出について

分野ごとに所属教員が投票を行った。投票の結果、数理・情報科学分野は8票2名、物理システム分野は3票2名、物質・エネルギー分野は6票、5票、生命環境分野は7票、6票2名となった。同数の2名は話し合いでどちらかを選出し、分野ごとに1週間以内に分野長と副分野長を決定して支援室に連絡することとなった。

(3) 特任教員Aの任用について

資料6に基づき、来年度の特任教員Aとして特任教授（1年間）及び退任する教授（2年間）を任用したいとの提案があった。審議の結果、提案通り承認された。また、特任准教授が特任Bとして2年間の任用が認められたことも合わせて報告された。

(4) 研究員（プロジェクト）の任用について

任用継続が提案された。審議の結果、提案通り承認された。

(5) 客員教員の任用について

資料8に基づき、客員教授11名、客員准教授5名（いずれも継続）が提案された。審議の結果、提案通り承認された。

(6) 客員研究員の任用について

資料9に基づき、継続19名、新規2名が提案された。新規2名については申請書が投影された。審議の結果、提案通り承認された。なお、最後に学類長から以下の二点について発言があった。①客員教員ならびに客員研究員の採用については年齢が70歳を超える方が多いので、次年度以降はこの点を考慮して申請してほしい。②今年度の昇任人事については認められなかった。教育研究院等での議論を紹介した上で、学類内での手続きを少し変更したい。②の内容について教授から光熱費の高騰が昇任に影響を与えるのは何故か、准教授からは昇任と同様、新規採用も重要であるが、新規採用できないのは何故か、他大学も同様なのか、という質問が出された。学類長から、光熱費と人件費については金額のスケール感が違うが、そこを考慮した上で人事計画を出して欲しいと交渉している。また、光熱費については他大学の状況もかなりきついと思う、との回答があった。

2. 教務委員会

(1) 令和4年度非常勤講師計画について

資料10に基づき、12～15番を取り下げたいとの提案があった。審議の結果、提案通り承認された。

3. 学生生活委員会

(1) 2023年度グループアドバイザーについて

資料11に基づき、次年度のグループアドバイザーの選出方法について提案があった。選出は、①次年度から7名体制とする、②可能な限り、過去3年は1年生の担当としないようにする、③分野長や委員長は対象除外とはしない、との方針に従うこととする。審議の結果、提案通り承認された。最後に、次年度のアドバイザーをお願いしたい教員宛に、後ほど連絡する予定であるとのアナウンスがあった。

4. 学類入試検討チーム

(1) 令和7年度からの共生システム理工学類入試の検討結果について（総合型選抜）

資料12に基づき、前回の教員会議で継続審議となった点について再提案された。特に質問等はなく、審議の結果、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 学類長

(1) 「社会とデータ科学の基礎」の担当について

次年度開講される標記科目について、2名の教授に担当いただくことが報告された。

2. 教務委員会

(1) 第82回全学教務協議会について

(報告事項)

・新入生アンケート集計結果について

資料13のアンケート結果について紹介があった。資料が膨大なので、時間があるときに目を通して欲しいと付言があった。

3. 基盤教育委員会

(1) 2023(令和5)年度新規非常勤講師(基盤教育科目)の任用について

資料14に基づき、基盤教育科目(情報リテラシー)担当として1名の任用が承認されたとの報告があった。

4. 附属図書館運営委員会

(1) 「福島大学オープンアクセス方針」の策定について

資料15に基づき説明があった。令和5年1月16日に施行されたので、これ以降に学術雑誌等に掲載した研究成果は、著作権等の問題がない限り無償で公開する。

5. 男女共同参画推進専門委員会

(1) 令和5年度前期研究支援員制度利用者の募集について

資料16に基づき説明があった。例年通りの募集内容であり、利用したい場合は人事課に申請書を提出して欲しい。なお、申請締切は3月3日(金)である。

6. 入学試験委員会

(1) 令和5年度一般選抜志願状況について

一般選抜入試の志願者数について報告があった。前期日程が276名、後期日程が667名である。

7. 奨学寄附金の受入について(学類長)

受託研究1件が報告された。

◆教育研究評議会◆

○第392回(1月17日開催)報告 ※書面開催

【審議事項】

(1) 役員給与規則の一部改正について

資料1-1について、役員給与規則が一部改正されるとの説明があった。

(2) 就業規則の一部改正について

資料2-1について、就業規則が一部改正されるとの説明があった。

○第393回(1月31日開催)報告

【審議事項】

(1) 第4期中期目標・中期計画の変更について

資料1-1について、F-REIの名称変更および大学院再編に伴う定員変更があったとの説明があった。

(2) 令和4年度福島大学運営計画(案)について

資料2-1について、F-REIに関する赤字部分について変更したとの説明があった。

(3) 学内諸規則等の制定について

資料3-1および3-2について説明があり、大学院改革に伴い学則が改正されるので、これに関して意見がある場合には研究科長まで連絡するよう発言があった。

【報告事項】

(1) 学内諸規則等の制定について

資料4について、主に4点の改正について説明があった。教授から、新設される副理事とは何をやる役職なのか、手当はどうなるのか、という質問が出された。学類長から1月の経営協議会において副理事の設置と学士課程の改革を担うことが初めて提案されたこと、教育研究評議会において部長待遇の手当となるとの説明があった。また、准教授から副理事は事務方という理解でよいか、との確認があり、その通りであるとの回答があった。

(2) 大学院の改革について

冒頭での研究科長の説明と重複するため省略

(3) 労使協定の締結について

資料6について説明があった。全部で12種類あるので、時間があるときに確認してほしいとの付言があった。

(4) 令和5年度「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の算定の考え方等について

資料7について説明があった。この資料についても時間があるときに確認して欲しいとの付言があった。

(5) 節電・節ガス励行の周知依頼について

資料8について、電気代は1.9倍、ガス代は1.8倍になると想定されているとの説明があった。准教授から、理工棟513のように、複数の研究室で共同利用している部屋では窓を開放するため電気代が増えることになる。大学として方針を出してもらいたい、との発言があった。教授から、窓開けまでしなくても、換気扇(熱交換モード)を作動させていれば十分換気されるはずだ、との意見があった。

(6) 教育推進機構 教員の採用人事について

資料9について説明があり、高等教育企画室で2名、アクセシビリティ支援室で1名の採用が認められたとの報告があった。

(7) 国立大学法人福島大学と西会津町との包括連携協定の締結について

資料10について説明があり、12月21日に締結したとの報告があった。

(8) 「福島大学オープンアクセス方針」の策定について

上記の附属図書館運営委員会からの報告事項と重複するので省略した。

◆運営会議◆

○第182回(1月17日開催)報告

【報告事項】

(1) 大学院の改革について

冒頭での研究科長の説明と重複するため省略

(2) 令和5年度予算(案)の伝達等について

資料3について、特に資料3-3中の成果を中心とする実績状況に基づく配分、資料3-5中の概算要求措置分を中心に説明があった。

(3) データサイエンス教育プログラム(応用基礎レベル)申請に向けて各学類の検討状況について

資料4について説明があった。理工学類で予想される受講者数は30~40名程度と回答した。今後、対応を考える必要があるとの発言があった。

(4) 令和3年度会計検査院決算検査報告説明会について

資料5について説明があった。資料中に例示があるので、その部分を確認して欲しいとの発言があった。

以上